

第3回庄内町立図書館協議会 会議録

- 1 開催日時：平成25年2月28日（木）19時30分～20時30分
- 2 開催場所：庄内町立図書館 二階自習室
- 3 出席委員：小野寺姫、池田孝一、金内淳、齋藤すぎ、日野淳、小野寺博
- 4 欠席委員：日向ゆき
- 5 事務局：図書館長、主査、主任

進行：主任

1 開会 主任

2 あいさつ

- 会1 第2回「庄内町子ども読書活動推進計画」（18時30分～19時30分）
- その後 会2 第3回「庄内町立図書館協議会」（19時30分～21時30分）
- 委員長あいさつ（会1であいさつ）

先日までの猛吹雪が過ぎ、ようやく春らしい天気となってきた春が待ち遠しい。生き届いた充実した子ども読書の活動も成果や課題がみえてきた。学校や幼稚園で取り組んでもらったことをお互いに確認するいい機会である。

- 館長あいさつ(前段の庄内町子ども読書活動推進計画推進委員会にて)

図書主任会や地域学校支援事業本部会議などからも、各校を中心に一生懸命取り組んで下さり、読書が目に見えて向上していることが伝わってくる。本の良さ、すばらしさを伝える町として単なる計画でなく、町全体で具体的な実践がきっちり進められている。今日の資料は膨大になったが、今後の活動に更につなげてほしい。

3 協議事項

- (1)平成24年度庄内町立図書館・内藤秀因水彩画記念館における事業総括について
《事務局説明》

- (1)の資料の内容説明

(委員長) 事業総括や利用状況など説明いただいたことについて、皆様から質問、意見をいただきたい。

《協議の内容》

(委員) 先日酒田の図書館にも行ってきたが、主な利用者層は、60代以上の高齢者で職をリタイアした年代であった。資料室に2、3人ずつ勉強室に30代女性3人ほど利用者がいた。この図書館にみえる利用者の年代構成と同様だと感じてきた。

(委員) 鶴岡の図書館にも行ったが、施設の環境はいいところだ。各新聞はひもで結ばれ、そのスペースでしか見れないようになっている。これは多くの方が閲覧できるようにするためのようだ。

(委員) ここの図書館でも新聞を読む場合、ときたま一人の人に占領され新聞が読めないことも

ある。新聞は、たくさんの方が読むものなのだと思うほしい。

(委員) 雑誌の紛失があるということだが、何らかの対策は講じているのか。

(事務局) 以前は、棚に雑誌のバックナンバーを置いていたが、現在はバックナンバーの雑誌も書庫に保管し、利用者の要望に応じて貸し出すように対応している。それでは利用者が利用しにくいのではとも思っている。

(委員) 雑誌も新聞も磁気処理はしていないのか。

(事務局) バーコード処理だけである。酒田市の図書館は、ICチップで盗難防止になるのを導入している。

(館長) 新しい図書館の建設の際に、ICチップも検討したいと思っている。果たして庄内町の図書館の規模で必要なのかどうかいうのもある。

(委員) 図書利用の手続きがわからず持っていく場合もある。後で家族が図書館の本が見つかり持参するケースもあった。

(館長) 人気のある本は、台本版にして貸出している。

(2)平成25年度庄内町立図書館運営計画(案)について

(3)平成25年度庄内町立図書館協議会年間計画(案)について

(4)平成25年度庄内町内藤秀因水彩画記念館運営計画(案)について

《事務局説明》

○(2)(3)(4)の資料の内容説明

(委員長) 説明あったことについて、質問、意見いただきたい。

(館長) 補足だが、庄内町子ども読書活動推進計画が平成25年度に三年目の最終年次にあたり、来年の2月に推進委員会にてそのまとめを行いたいので、図書館協議会と別に開催するか同日開催とするか今後検討させていただきたい。

(委員) 来年度の町民大学文学部について内容を説明してほしい。

(事務局) 郷土の人物を学ぶという内容で5回講座計画している。山蔦正躬さんについての講師について、山蔦さんの娘さんをお願いしたところ難しい。

(館長) 山蔦さんの場合は、具体的な資料をメインにし、娘さんに親のエピソードを聞いたりして講座の持ち方を工夫することも検討している。

(委員長) 運営計画に図書館の建設について記載があるが、状況はどうか。

(事務局) 図書館建設は、町づくりとからめていきたいと思っているものの、現在のところ町の動きはなく残念に思っている。ただ建設が忘れられないように頑張っていきたいと思う。

(委員) 町の文化的な分野では、文化財関係も含めなかなか進まないように感じている。これから建設になる新産業創造館や温泉の建設などで大変なのだと思う。これまで図書館の取り組みを聞いていて、幼児から高校生まで子ども読書の取り組みについて、学校も含めよく努力していると思う。

(委員) この前庄内日報の鶴岡市の図書館のコーナーであったが、庄内町の図書館のことを記載した中野さんの記事が掲載されたので、これが情報発信としてPRになればいい。

(館長) 鶴岡の図書館は、閉架もすばらしい。ここも閉架にも本がたくさんあり貸出できるのだが、

見てもらえないため難しい。酒田市でも子ども読書活動推進計画を作成しているが、学校数が多いため、学校との連携は、どういう状況かはわからない。

(委員)庄内町だからこそできる小学校や中学校との連携をしていると思う。心配なのは、少子化や両親の共働きのため、子どもとの時間がどれ位とれているか、映像の世界に慣れており、本のおもしろさや喜びを感じてもらおうよう、図書館に来てくれることが大切。子どもの頃から本を読んだ子どもは考え方に深みが出る。一人立ちしたとき、生き方をこなしていくときの一生の宝物になると思う。

(館長)PTAや親ごさんが読書の様子を具体的に見て自分たちも関わる姿勢が出てきて、うれしく感じている。以前は、PTAに親子読書の取り組みをお願いした。現在は、PTAのお父さんも読み聞かせに参加してくれている。親世代がそういうふうになっていかないと家庭に帰ってから読むのは難しいので。さらに「親子で読書」が広がればと思う。

(委員)今年の蔵書点検でこの図書館休館になったときは、どこに行けばいいのか大変だった。図書館の存在は大きいと感じた。

(事務局)蔵書点検時も、職員数も限られているため、ある程度休館にしないと対応できないため、利用者みなさんにご不便をおかけし申し訳ないと思っている。

(委員長)今日のところは、これで終わりにさせていただきます。

(2)その他

特になし

4 その他

《事務局説明》図書館協議会委員の現在の任期は、平成25年3月31日までになっていることを説明した。

次回開催日程：平成25年5月下旬

5 閉会 池田主任